

第77回

松村断酒学校

特集

発行所 高知県断酒新生会 高知市若松町215 TEL(088)883-7925

発行人 武内 晴夫 編集 松村断酒学校事務局



断酒学校が プラチナホールに 帰ってきた

第77回松村断酒学校が5月11日(土)、12日(日)、本山町プラチナセンターで開催された。新型コロナウイルス感染症が第5類になり、おかげでメイン会場をプラチナセンター文化ホール、分科会を研修室などで行うことが出来た。広いステージから、日本中から参加した仲間達へ語る体験談は格別心に染み、2日目、恒例のカーネーション贈呈はさらなる断酒継続の固い誓いとなったに違いなし。

参加者数226名

(医療・行政27名、会員・家族

175名、一般24名)

来賓(順不動、敬称略)

中谷元(衆議院議員・アルコール

問題議員連盟会長)

澤田和廣(本山町町長)

山崎正雄(高知県立精神保健福祉センター所長)

市川正浩(医療法人社団光風会三光病院・名誉院長)

海野順(医療法人社団光風会三光病院・理事長、院長)

佐藤仁(医療法人社団五色会・このろの医療センター五色台・理事長、院長)

渡部三郎(公益財団法人正光会・理事長)

下司孝之(高知県アルコール問題研究所・相談役)

皆様のご支援と励ましが私たちの断酒継続に一層の力となっています。ご臨席いただきありがとうございました

体験談

参加された皆さんから松村断酒学校の印象などを寄稿していただきました。

愛知県小牧断酒会

佐々木 義博

5月11日から12日両日にかけて、第77回松村断酒学校が開催され愛知県から仲間2人で参加しました。

土曜日当日雨の心配しながら当日日本山町プラチナセンタ―に到着すると既に多くの仲間が来ており会場は熱気に包まれていました。開校式が始まるまで、名刺交換等して交流を深め、午後1時より開校式・史跡紹介・自己紹介後第1研修が始まりました。

最初家族の体験談が続くその中で、飲酒運転で家を出て行った主人が何処に行ったか所在が分からず、連絡がないので、主人が帰ってくる迄心配で寝られなかった。親として自分も親の酒の影響でどのように育てて良いか分からず、自分の生んだ息子を甘や

かせて育ててしまった等家族の体験談を聴かせて頂き自分も飲酒運転を繰り返して、一般の精神病院の閉鎖病棟に入院する3週間前に朝方飲酒運転で電柱に激突する事故を起こしフェンスがワンクッションあったお陰で奇跡的に額のかすり傷と軽い打撲だけで済んで命助かったにもかかわらず警察の事情聴取が済んで「救急車に乗って下さい」と警察官に言われその言葉に反論して「額のかすり傷と軽い打撲だけなので大丈夫です」と言っただけで自分のした事を反省も出来なくなっていましたし、救急車に乗って県立医療センタ―に着いて、額の消毒と打撲の所にシップ張って治療が終わり両親の到着を待っていました。

両親の顔を見るや否や病院に到着した両親に向かって「遅かったやないかなんでもっと早くこられんのや。」と病院中に聞こえる位の声を張り上げ、急いで駆け付けた両親の気持ち等全く考えられなくなっていました。

又、酒とギャンブルの両方に嵌まり込んでいて、自分の給与だけでは足らなくなり、親から暴言・暴力でせびる様になり、挙句の果てには、消費者金融に手を出して払えなくなり追い込みがかかると様になって父親に頼んで弁護士通じて任意整理し両親に対して精神的にも経済的にも追い詰めて、自分の事しか考えずに自己本位な考え方になっていたか自分を反省すると共に酒の怖さを改めて振り返る事が出来て有意義な時間を過ごさせて貰い有難かったです。

続く第2研修では虹の会に参加させて頂きました。自分

自身断酒会に入った当初は健常者で両足にて歩いていて、障害を持った方の気持ちははつきり言っただけで全く分かりませんでした。しかしながら、12年前に糖尿病神経障害により冬場に電気炬燵で両足に重度の低温火傷を負って地元の皮膚科で初め両足切断といわれ通っても良くならず、紹介状持って県総合医療センターの皮膚科・整形外科を受診し初めは両足切断と言われましたが、治療のしかたが違って何とか右足は残りましたが、左足は医師から「残して歩けない事は有りませんが、壊疽が進行して最悪左足全体失うことになります。どうしますか。」と言われ1か月後に左下腿を膝下10cmの所で切断して障害者になり、リハビリ期間を経て研修会に復帰し愛知や岡山県津山の大先輩の勧めで初めて全国広島大会の時虹の会に参加しました。

参加した研修会の中で障害

の持った方の体験談を聴く中で、重複して障害を持っていた

の方の姿を見せて頂き体験談を聴いていく中で自分が両足切断と言われ落ち込み一時車椅子に乗ってお金持ってコンビニに酒買おうとしてた時に、ある山梨の仲間から電話貰って飲酒せずですんで仲間の大切さを思い出しましたし、もって行き場の無い怒りを看護師さんや母親に当たり散らし申し訳なさを感じました。その後何度となく虹の会に参加する中で「身体に障害があっても心に障害は持つな。」等色々な事を学ばせて貰う内に自分の障害を受け入れて、前を向いて歩いていく大切さや健康の有難みや両親が健在である事の有難さに気づかせて貰って今の自分がある仲間の大切さを学び有意義な時間を過ごし全部研修が終了し、清流館の宿舎では、夜話会の中で多くの仲間と夜話をして断酒会の在り方等多く

の学びを得て1日目の研修は終了しました。

2日目日曜日は、朝恒例の母の日にカーネーションの受け渡しがあり、仲間のお陰で、三重県の方々に普段自分の母親には中々面と向かって感謝の言葉は恥ずかしくて言えないけど、言わせて貰い渡すことが出来ました。今後は、出来るだけ感謝の言葉を伝える事の大切さを学ばせて頂きました。

体験談終了後、反省例会の中で「来年も来ます。」と発言し閉校式後終了証を貰い帰路につきました。帰りに栃木のご夫婦と一緒に松村春繁の墓に参拝に行きましたが大雨なので、自分は車内にいて、お墓参りだけ済ませて高知空港まで送りました。今回第77回松村断酒学に参加させて頂き多くの仲間と体験談を通じて交流し、初心と原点を思い返せて良かったです。

富山県 となみ断酒会 二塚 雅之

令和4年、5月5日

コロナ禍で開校出来なかったが、オンラインで開校を行う、高知県断酒新生会が、どう取り組んでいるのか知りたくて、高知へ行きました。

まずは、やはり断酒会を創立されました、松村春繁夫妻のお墓参りを、小松重洋さんの案内でいたしました。

そこで断酒の誓い、心の誓いを唱和して、墓参りの時のお経を唱えました。

☆どんなことがあっても断酒会を止めない決意を誓いました。

以下は行動日誌です。

5月5日(木祝) 晴れ

5時41分に出動して、南砺井波く金沢駅西口を2往復して約200km運行している。15時過ぎに終業、そして帰宅して、夕食を終えて身仕度し

てから出発した。

21時30分く砺波IC 21時40分く70km 尼御前SAく敦賀、舞鶴若狭自動車道く143km 神戸赤松PAく明石海峡大橋く淡路島PAく124km 吉野川SAく高知IC 吾岡山走行距離687km 仕事と合計で887km 走行です。人生最高に長い距離運転したけど、さほど疲れていませんし、限界は分かりません。

5月6日(金) 晴れ

9時ガソリンスタンドで給油して、吾岡山駐車場で休憩。

13時に小松重洋さんに案内してもらい、松村春繁夫妻の墓参り。

15時く17時坂本龍馬記念館見学

18時高知共済会館(コミニティスクエア) チェックイン

19時ひろめ市場、帯屋町（長宗我部）で、かつおたたきを食べました。

19時～21時高知コミニティセンターで仲間の企画会議を見学して。

22時過ぎに寝る。

5月7日（土）晴れ

7時朝食9時高知教育会館（高知城ホール）会場の準備して。

11時30分～12時20分明神丸帯屋町店で高知の仲間と昼食。

12時30分オンライン会式前に高知城を見学。

13時30分～18時zoomオンライン。高知城ホール会場の大型スクリーンで視聴する。

開会式では、松村春繁夫妻の娘さんが来られてスピーチしてもらい、挨拶して墓参りしている事を報告しました。

18時10分～18時40分ひろめ市場のラーメンを食べました。

19時～21時までzoomオンラインを視聴。

22時高知コミニティスクエアで

泊まる。

5月8日（日）晴れ

9時～12時高知城ホールでzoomオンラインで指名してもらい、発表させてもらう。

次の予定があるので、仲間に挨拶して、途中で退席して会場を出る。

12時20分高知～32km42分13時～13時50分道の駅かわうその里昼食（鍋焼ラーメンセット）～79km16時50分宿毛市宿毛歴史館～3・9km16時50～17時20分宿毛港フェリー乗り場

17時30分～18時道の駅すくもー豚太郎宿毛店（ラーメンセット）18時30分～21時宿毛市立歴史館、幡多断酒会の例会出席

宿毛市～46km22時30分宇和島オリエンタルホテル到着 泊まる

5月9日（月）晴れ

8時55分宇和島オリエンタルホテル、仲間と逢い～9時～9時30分和霊神社参拝～9時40～10時45分宇和島城見学～11時30

分九島～11時40分～12時20分かどや弁天昼食（宇和島鯛めし）仲間に挨拶して別れる。

12時30分コインランドリー13時40分～14時40分内子町パーキングエリア～15時10分～19時10分伊予灘PA4時間休憩して、夕食うどん定食。泊まる所イン

ターネットで検索して、天然温泉石手の湯ドゥーミーイン松山に行った。

19時30分チェックインホテルから松山城が近い

5月10日（火）晴れ

石手の湯ドゥーミーイン松山朝食後～8時50分～9時40分松山城を見学 10時にチェックアウト

11時40分～12時10分今治市来島海峡SA昼飯

13時～13時15分瀬戸田PA～68km16時10分～17時30分加西SA（夕食ラーメンセット）～63km19時40分～21時六人部

PA～112km22時50分南条SA～60km23時20分～0時20分

尼御前SA～70km5月11日（水）1時30分自宅着、11時間42分この日はかかったけど、さほど疲れていませんです。

☆高知断酒新生会の皆様方の熱意によって、断酒のモチーベーションが上がリその後、県外の研修会に出るようになりました。

私のモットー

☆生まれ変わるなら生きていくうちに

☆迷っているなら実行する。

やらなかった後悔はしたくない。

☆出来ない理由は後悔する。

歳だから、遠いから行かない、金がないから、天候が悪いから、その他いろいろありますが、出来る方法を考えましょう。

身体具合悪くなったら出来ないので。

☆やはり健康だから出来るのです。

第77回松村断酒学校に出席して 香川県断酒会 山本 津子

第77回松村断酒学校の開催、ありがとうございます。そして運営していただいた高知の皆様、大変お世話になりました。

私が初めて松村断酒学校に入校したのは、断酒間もない頃でした。その頃の私は素面で過ごす事のしんどさや、家族に早く認めてもらいたい焦りでイライラが積もるばかりの日々でした。

そんな時に先輩に連れて行っていた断酒学校で体験発表を話す機会を作っていただきました。初めて立ったプラチナホールの舞台の上の事、そしてその時の体験談の内容は今でも鮮明に覚えています。緊張で手足が震える中、只々どうしようもなくしんどい気持ちを吐き出しました。今から思えばとても恥ずかしい話でしたが、その頃の

私にとっては精一杯の体験談でした。話し終えた後たくさんの方々から声をかけていただき励ましてもらったことがその後の断酒の力になりました。

また毎年恒例のカーネーションを自宅に持ち帰った時、母がとても喜んでくれました。母が亡くなった今でも実家には断酒学校でいただいた数本のカーネーションを飾ってくれています。

初めての入校から毎年参加させていたできていましたが、途中何年か参加出来ずコロナ禍で一切の研修会がなくなり松村断酒学校も中止でした。

しかしその間もオンラインで断酒学校を開いていたありがたい事がその頃の私には非常にありがたかったです。画面の上ではありますが、仲間との

絆を確かめる事が出来ました。

そしてコロナ禍を経て昨年久しぶりに入校させていただきました。そして今回は4年ぶりのプラチナホールでの開催、沢山の過去の思い出がよみがえってきました。

そして沢山の朋友との新しい出会い、再会に胸を躍らせ、中でも香川県からアメシストの仲間6人と参加することが出来た事がとても嬉しかったです。私は遅れての参加で、会場についた頃ちょうどアメシストの分科会を行っていました。分科会の会場に入った途端、アメシストの仲間の多さや熱気に圧倒され、また皆さんの体験談を聴かせていただいていた沢山の気付きがありました。

一日目が終わり、アメシスト朋友との夜話会、例会とは一味違った仲間との楽しいひと時です。コロナ禍では感じることの出来なかった仲間との

リアルでのふれあいのひと時が非常に有難かったです。

皆涙あり笑いありの、例会とは一味違った本音の語り合いの時間があるというのは泊りの研修会だからこそですね。初めて会った仲間とも前から知り合いだったように話が弾みました。これも同じ苦しみを経験したからこそ味わ



える仲間との絆です。

いつの間にか楽しいひと時は過ぎて2日目の研修でカーネーションの贈呈、そして最後の反省例会では皆様の声を聴く事が出来ました。これこそ松村断酒学校の醍醐味です。

あつという間の2日間の入校でしたがたくさんの思い出や気付きを持ち帰ることが出来ました。当たり前と思っていた仲間との握手がまた出来るようになった喜びを感じさせていただき有難い気持ちでいっぱいです。

「第77回松村断酒学校」と書かれたカーネーションを持ち帰る事ができ、また断酒を積み重ねる事が出来た喜びを味わっています。一日一日の続ける事の難しさや大切さを忘れない事を、これからも心掛けていきたいと思っています。そしてこれから入校させていただきたいと感じながら、会場を後にすることが出来ました。

最後になりますが今回松村断

酒学校を運営していただいた高知の皆様、大変お世話になりました。こうやりがとうございました。こうやって感動をいただいていた事が出来たのも開催していただいた方々のお陰です。感謝申し上げます。

また今回会えた仲間達との再会、新しい仲間との出会いを心待ちにして次回の松村断酒学校も楽しみにしています。皆様、ありがとうございます。



尼崎市断酒会 田辺 貞信

去年に続き今年2回目の入校になります。私のミスで集合時間を開違えてしまい道中、渋滞に巻き込まれてしまい少し遅刻してしまいました。(申し訳ございませんでした。)

松村断酒学校の話はよく先輩方から聞いていましたのでいつか行ってみたいと憧れておりました。

全国から仲間が集まり久しぶりに会えた人 初めて会う方、2日間とても有意義に過ごせました。

食事の時間、お弁当用にテーブルにふりかけを用意してくれていました。同じテーブルに座っていた当会会長と家族の方が「お茶漬けのりかけても美味しいよな」って話しているのが聞こえました。

私の小学校は給食でしたが中学校になると弁当でした。中学一年生だったある日、弁当箱を

開けるとご飯にお茶漬けのりがふりかけており、友達が「田辺、それお茶漬けのりちゃん？」って言われまして恥ずかしくて慌てて蓋を開めました。

それからは毎日弁当を開ける時は恐る恐る蓋をあけて手で隠すように弁当を食べるようになりました。昨晚のおかずの残りの煮物が入っていたり米とおかずの割合が恥ずかしかったり、毎日飲みこむような勢いで弁当を食べ、日によっては途中で食べるのやめて部活の帰りに捨てる時もありました。

母親に「お茶漬けのりかけの恥ずかしいからやめて」。友達に「またお茶漬けのりかかってるわ」「お茶漬けのり美味しいよな」って言えたらどれだけ楽だったのか。中学3年間昼のチャイムがなる度に憂鬱な気分になってなかったでしょう。

弁当だけではなく思っている

事を口に出すことが苦手で、いつも顔は笑っていました。が心の中ではいつもオロオロ、ドキドキしていました。

そんな生きづらさが酒に繋がっていったのだと思います。

酒に溺れてからは飲酒運転、消費者金融、傷害事件。両親には本当にたくさんの迷惑をかけました。

2日目の朝にカーネーション贈呈がありました。母の日にプレゼントを贈ったのは20歳くらいの時に当時付き合っていた彼女が「母の日はちゃんとしな」とあかん」って言われて財布をプレゼントしたくらいしか覚えていません。三十代半ばに離婚して実家に戻ってから酒代欲しさに母がお風呂に入っている間にいつも母が持っている鞆から財布を探したらまだあの時にプレゼントした財布を使ってくれていました。「まだ使ってくれてるんや」と思いながらも酒が飲みたい方が勝っていましたので千円札を一枚抜き取りまし

た。一度上手くいくと毎回母が風呂に入る度にお金を抜いていると母も気づいたのかお風呂まで財布を持っていくようになりました。

カーネーション贈呈式でご家族に反省と感謝の言葉を改めておくられているのを聞いていて、自分は断酒してからは「おはよう、おやすみ、ありがと」って言うようになります。それが改めて「今まで迷惑かけてごめんなさい。いつもありがと。う。」って言えていないなと思っていました。

去年もカーネーションを頂いたのですが帰って疲れていたのに玄関に置いていたら次の日に玄関を見たら花瓶にいれて飾っていました。

今年こそ母にお礼を言っておきましてカーネーションを渡そうと思っておりましたがまた玄関に置いてしまい翌朝、慌てて玄関に行ったらすでに花瓶に飾っていました。

断酒会に入会させていただ

てから体験談を話すことで自分の思いを口に出すことが少しずつできるようになり幾分楽に生活できるようになったと思います。すし酒害に巻き込んで迷惑をかけてきた事を反省するようになりました。

「断酒新生」と「反省・感謝・報恩」 これからも例会を大切に、断酒会を大切にしてい

きたいと思っています。

最後になりましたが今年もお世話になった高知県断酒新生会の皆様、運営準備に関わられた皆様 本当にありがとうございました。

来年も必ず入校いたしますのでどうぞよろしく願います。

京都府断酒平安会 山本 牧

「牧ちゃん、断酒会に行くって言ってくれて嬉しいわ。あんなにこれだけは約束して。毎日例会してな。」

おばちゃんが言うてくれた言葉、「毎日例会」の意味がわからなかった。

そやけど叔母の真剣な眼差しを感じたボクは、「わかった。約束するわ」

その時から、【例会出席】【一日断酒】は続いている。

平安会23支部から、近畿、中国、関東、中部、四国、九州、北陸、断酒例会、全国大会、ブロック大会、断酒学校・研修会《考えるより、動け。》そう決めたから、ボクは必死のパッチで廻った。

止めたアカン。そやけど飲みたい。やめな。のみたい。アカン。飲みたい。

のみたい…のみたい…なんでや…

言い訳を…

飲む理由が必要やった。

周りの連中が「もう大丈夫やる?」「一杯だけやったら」

「飲んで、飲まんでも、変わらんやろ?」色んな事を言われて、そそのかされたし…

借金返済の当てなんか無いから、今日は飲んで忘れよう。

今日は日が悪い、これ飲んだら明日から…

金が無いから、道端、自動販売機の下や返却口、墓場のお供え物を探しに行ったり。

こんなに安東医院へ通っているのに、飲酒欲求が出てきよる…病院かよても、しゃーないわ。

周りの奴らと俺は違う。酒なんかに支配されへん…

しんどい…なんとかせな…やめな…

まわりのヤツらは信用できひん。

助けてくれなんてカッコ悪うて、言えるか。

助けてて、言えるひとがおらへん。

なんとか、せなアカン…

ひとりで、なんとか、せな。

ボクは独りぼっちやった…

ものごころついた頃から

酔っぱらって暴れるお父さん、

泣き叫ぶお母さんを

いつも見ていた。

やめて。やめて。

ボクの声は二人に届かへんかった。

居場所がココには無かった。

帰りたい場所がなかった。

帰れる場所がなかった。

なんで、こんな家に生まれてき

たんやろ。

愛情が欲しかった。ずっと心が

飢えていた。

ツライココロにフタをして生き

てきた。

ココロを開くことが出来なかつ

た。

ボクは独りぼっちやった…

人の顔色を見ながら、自分を嘘

で演じて生きてたある日

「これ飲まんかったら、俺らん

とこ、もう来んでええぞ。」

仲間に酒を差し出された。

お父さんを、お母さんを、妹

を、叔父さんを、叔母さんを、

従妹を、

ボクの存在を滅茶苦茶にした

酒。

大っ嫌いな酒。絶対飲むかと思

ってた酒。

ボクは必死に飲んだ。

仲間外れにされる。いじめられ

る。なにより、独りぼっちにな

るのが怖かった。

稼いだ金で自由に酒が飲めるよ

うになって、いつのまにかボク

は酒にとり憑かれていた。

次々と無くしていく、健康、

金、信用、信頼、仕事、友情…

ココロ。

母親が心配して、声をかけてく

れるが、

「うるさい!言われんでもわか

かつとるわ!」

少しでも食べれるようにと作っ

てくれた、うどんや、おかゆを

「だれが作ってくれて言う

た!いらん言うとるやろ!」

と母親の目の前で捨てたり…

今更なんやねん!という気持ち

がわき、自分がどうしようもな

いことを認められないまま、立

場の弱い人間、母親に暴言を吐

いていた。

ただ飲みただけの気持ちを認

められず、

親父みたいな飲み方はせえへ

ん。

親父みたいには、まだなつてな

い。

親父の…山本の血をひいてるか

ら酒が止まらへんのや!と言い

訳し続けた。

ボクは独りぼっちになった。

独りで酒は、やまらんかった。

断酒会の例会廻りを続けている

うちに、少しずつ自分が変わっ

ていった。

体験談なんか聴いて酒なんか止

まるんか?

考えるより動こう。

「毎日例会してな。」

約束を守ろう。

「よう来たなあ。ようこそ、ようこそ。」どこの例会場でも同じだった。

俺、行ってもええんや。また行こう。

毎日例会が続いてたある日、突然、体験談が聴こえ始めた。

俺も一緒や。ああ、そう言うことか。共感。気づき。

体験談を聴けるようになってくると、何気ない、たわいもない話も聴けるようになり、共感、気づきも出来るようになっていた。

みんな、包み隠さず自分の気持ちに素直に体験談してはる。

俺は自分の気持ちを話せてないな。

そう感じてから、ボクは幼いころの話を少しづつ話すようになった。

だんだん、例会廻りが楽しくなってきた。

先輩、仲間から、たくさんの気づき、学びをもらった。

「体験談はな、自分がフタして埋めてしもたヤツを掘り返してこじ開けなアカン。」

「牧ちゃん、幼い頃の自分をほめて抱きしめてあげろよ。」

「飲むのに理由なんてあらへん。飲みたいから飲むんや。」

「例会廻り続けとつたら、知らんうちに酒、やまっとるで。」

「何があっても、断酒会だけは離れたらアカンでえ。」

「我が我がの我を捨てて、お陰お陰の下で生きる。」

「一日断酒、例会出席どちらが欠けてもアカン。二つで一つなんや。」

「酒をやめ続けるには、体験談を語る仲間の姿から、止めてきた生き様を学ぶことが大切だ。」

例会廻りを続けて、たくさんの仲間が声をかけてくれるようになり、いつの間にか、独りぼっちじゃなくなっていた。

ボク、おつてもええんや。居場所があることに気付いた。

前夜

仲間の車に乗せてもらい、SAの景色とツバメに感動し（感動できるようになってきた）、

途中ワクワクするコンビニに寄って（なんもないでエ）、

オーナー自ら言うてはった）、

松村断酒学校に初入校した。

【初日】

夕食のお弁当が豪華で、もの凄く美味しかった。

分科会のシングル参加。（時間足らずで残念）

清流館での入浴（脱衣所までお湯漏れ）、自炊室での夜咄（お菓子とジュースで）、

体育館での集団就寝（いびきのオーケストラ）と、小学校時代の修学旅行に來てる気分が楽しかった。

独りぼっちじゃない。仲間が、そばにいてくれる。

【二日目】

研修中カーネーションの贈呈のセレモニーがあり、仲間が参加出来る様にしてくれはり、ボク

はいつもお世話になっている大阪の家族（お母さんの立場）にカーネーションを渡す、貴重な体験をさせてもらえた。

セレモニー終わりに、2本のカーネーションをいただいた。

故松村春繁氏のお墓参りをし

て、行きしなの仲間二人と、帰る方向が同じだった嵐を呼ぶ男

と同乗して帰る途中、地元朋友に教えて頂いたお店で（土佐

沖かつおモチモチお刺身とわら

焼塩タタキ定食）を食べて、

味、ボリウム、オーナーのキャラに大満足した。（おすすめオムライスが気になった）

車内例会をしながら、仲間がいてくれるありがたさを、あらためて感じながら、京都に帰った。

実家に顔を出し、母親にカーネーションを渡した。

「今まで、酒でたくさんの迷惑をかけてきてすみませんでした。こんな俺を見捨てずに助けてくれてありがとう。」

カーネーションを受け取った母は、「そんなん、はじめて言われたわ。変な感じやな。ありがとう。」

そこには、母親に感謝が出来た、ボクがいた。

翌日、安東医院
ダイヤケア終わりの
スマホに留守電が入っていた。

ピーツ…

「もしもし、牧ちゃん。松村断酒学校に行ってきたんやね。カーネーションありがとう。おっちゃんにお供えしときますね。頑張ってる姿、嬉しいです。では、またね。ありがとう…」



来年も、松村断酒学校へ行こう。

本山町町長を表敬訪問

7月11日（木）、松村断酒学校事務局の5名が本山町役場に澤田和廣町長を訪問し、本山町の多大なご支援に感謝の意を伝えた。大西千之教育長も同席され、お二人より、来年の開催についても協力下されると、ありがたいお言葉をいただいた。



断酒学校告知

第78回松村断酒学校

日時 令和7年 5月10日(土)・11日(日)・12日(月)

場所 本山町プラチナセンター

※皆様のご参加を心よりお待ちしております。 松村断酒学校事務局

お知らせ

第61回 全国(大阪)大会

日時 令和6年10月13日(日)

場所 堺市フェニーチェ堺
(堺市民芸術文化ホール)



NPO法人高知県断酒連合会Zoom朝例会のご案内

毎月2回、原則第1、3日曜日、午前7時より9時まで2時間のオンライン例会が行われています。参加希望者は次の宛先へメールで「参加希望」とお申し込みください。

●NPO 法人高知県断酒連合会 danshu.kochi@gmail.com

◆本例会は顔出し・本名での参加をお願い致します。匿名参加はできませんのでご了承ください。

「本人や家族の方でお酒に悩んでいる方はいませんか？」

※ 高知県断酒新生会例会案内（お気軽にご参加ください。）

毎月開催日	時 間	場 所
第四日曜日	十九時～二十一時	佐川町総合文化センター
第三月曜日	右に同じ	南国市地域交流センターみあーれ！
第二・五 火曜日	右に同じ	県断酒新生会事務所 （高知市若松町二一五）
第四火曜日	右に同じ	安芸市総合社会福祉センター（9月まで） 安芸本町コミュニティセンター（10月から）
第一水曜日	十九時～二十時四十五分	県断酒新生会事務所 （高知市若松町二一五）
第二・三・四 水曜日	右に同じ	高知市東部健康福祉センター （但し、祝日の場合は県断酒新生会事務所）
第一・二・三・ 四・五 木曜日	十三時～十五時 （昼間例会・相談）	県断酒新生会事務所 （高知市若松町二一五）
第三金曜日	十九時～二十一時	高知市瀬戸西町公民館
第一土曜日	右に同じ	土佐町農村環境改善センター
第二土曜日	右に同じ	香南市のいちふれあいセンター

新生会・家族会ホームページご案内

例会スケジュールはコロナ禍の影響などで急な変更もございます。

QRコードでご確認ください。

●新生会ホームページ
www.kcb-net.ne.jp/dansyu/



断酒新生会 HP

●ご家族のための家族会ホームページ
kochi-kazokukai.blogspot.com



家族会 HP